

平成30年度 山口県看護協会通常総会 開催にあたって

公益財団法人山口県看護協会

会 長 西生 敏代

平成30年度公益財団法人山口県看護協会通常総会を開催できますことは、会員の皆様方の多大なるご支援・ご尽力の賜であり、衷心より感謝申し上げます。

昨年の通常総会で会長に就任させていただき1年が経ちました。

この間、少子高齢化の進展による、超高齢化社会の到来に対応すべく、政府が進める医療と介護の一体的な改革を踏まえ、日本看護協会の連携を大切に、地域を支えるよりよい看護職を目指し「医療の視点」、「生活者の視点」の尊重、及び「家族を支える視点」を持った「地域包括ケアにおける看護の機能強化」等に取り組んできたところです。

こうした中、重点方針である「組織の強化」の長年の目標であった「協会会員数1万人突破」が達成できましたことは喜びの限りです。

また、行政、関連団体・機関間の連携も深めながら、「助産師出向支援導入事業」に取り組み、基幹病院と出向先の地域の病院間で協定書を締結し、事業開始後はじめとなる出向が実施できました。

昨年秋には「ヘルスプロモーション学術集会」を、本県で開催し全国から多くの看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）の皆様を迎え、無事終えることができました。

これもひとえに、会員の皆様方のおかげと心より重ねて感謝申し上げます。

さて、平成30年度につきましては、前年度の成果を踏まえ重点事業方針・重点事業を踏襲しながら、住民の皆様にも最も身近な専門職として、社会変革に対応し地域の皆様が安心して、その人らしい生活を営む社会の一助となれるよう取り組んでまいりたいと思っています。

本日の通常総会では、平成29年度決算報告、役員選出等の議案審議をお願いし、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画、重点方針・重点事業、収支予算について報告させていただきます。

平成30年度の重点方針・重点事業は以下のとおりです。

- 1 地域包括ケアにおける看護の機能強化
- 2 看護職の就業と定着の促進
- 3 看護の質の向上とキャリア形成の推進
- 4 組織の強化

こうした、事業に重点的に取り組みながら、皆様の職能（保健師・助産師・看護師・准看護師）を活かし、同じ志を持ち、「創造的に行動し、責務を果たし共に生き」なすべきこと成し、「県民の健康に寄与する」という使命を、山口県看護協会として皆さんと共に果たしていきたいと思っていますので、なにとぞ引き続きご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。